

キュービーみらいたまご財団 のご紹介と活動について



2022年3月11日
公益財団法人 キュービーみらいたまご財団事務局

1. 財団の生い立ちとめざすところ
2. キューピーグループや社員との関わり
3. 財団の活動



4. ご提案

全国の子ども食堂へすぐに寄付品がお届けできる仕組みMOWLSのご案内



1.財団の生い立ち①

キューピーでは昔から「子ども」を中心に食を育む活動を行ってきました

社会とのかかわり

1960年～
ベルマーク寄付活動



「食を育む」

1961年～ オープンキッチン
食品工場見学のスタート

1975年～メディアライブラリー
テーブルマナー等

2002年～ マヨネーズ教室
2019年に全国で累計10万
人の小学生の参加達成！

2014年～ 仙川マヨテラス
都内での工場見学体験



1.財団の生い立ち②

2016年～

子どもの貧困が
社会問題に



共働き、
ひとり親世帯の増加
個食，孤食

「食を取り巻く社会課題」が
どんどん増大

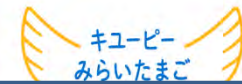
～共食は子どもの心と体の
成長につながる



広がり始めた子ども食堂活動
への個別応援開始

同じような想いの団体の活動を幅広く、全国的に支援して、
キューピーだけではできない社会活動に役立ちたい

1.財団の生い立ちとめざすところ③



食の大切さを伝え、食の力で
子どもの未来を支える

設立の想い

これまでの取り組みを継続、進展させるだけでなく、想いを共有しうる団体の活動を広範に支援し**一企業だけでは成し得ない社会活動**に繋げていきたい

業績による社会活動への影響が及ばないように、社外に独立した**財団**とすることで、長期的な考えに基づいて継続的な助成活動を可能にする

安定的に継続的な助成活動を行っていくため
自社株を財団へ交付して、その配当で助成事業を運営
2017年2月株主総会で150万株の有利発行の特別決議

【正式名称】公益財団法人 キューピーみたたまご財団

【設立】2017年4月3日（2019年4月1日より公益財団へ） 5 / 16

2. キューピーグループや社員との関わり



愛は食卓にある。
kewpie

○食育活動

- ・オープンキッチン (工場見学)
- ・マヨネーズ教室
- ・メディアライブラリー

工場見学・マヨネーズ来場者数
対象：全国8工場+マヨネーズ (2020年度) **21,016人**
※オンライン含む

マヨネーズ教室開催数
参加人数2,938人 (2020年度) **62回**
※オンライン含む

○社会活動

- ・ベルマーク運動
- ・QPeace ※マッチングギフト

07
3

QPeace参加希望者「従業員」

① 推薦 ↓ ② ↓ 積立 ③
QPeace ← 会社
④ ↓ 寄付

従業員の積立額と
司額を支援

社会・環境活動団体

社員ボランティアによる
選考準備委員会設置

グループ会社からの
食品寄贈

セミナーや助成団体活動へのボランティア参加

キューピー
みらいたまご
財団

○想いを共有する活動団体への助成金公募と支援

A 食育活動支援
B 居場所づくり支援 (子ども食堂等)

○活動団体への食品寄贈

○活動団体セミナー開催 (勉強会・情報交換会)

○財団サイトでの助成団体の活動紹介ブログ

重点課題：子どもの心と体の健康支援
サステナビリティ目標
私たちの活動で作る**子どもの笑顔の数**
※実績は2019年度からの累計



	2020	2021	2024	2030
目標		20万人以上	40万人以上	100万人以上
実績	17.7万人			

【参考】キューピーグループ社員の財団活動への参加

社員による子ども食堂 ボランティア応援



グループ商品の寄贈



財団イベントへの従業員参加 (助成授与式交流会)



支店の活動団体での寄贈 商品の荷受け応援作業

2022年度選考準備委員



那覇営業所所長からの 助成証書授与式

3. 財団の助成活動

◆ 助成事業（食育活動団体への寄付） ◆

プログラムA～食育活動支援～

【対象】

食を取り巻く社会課題に広範に取り組む活動団体

【助成内容】

食育活動を行うための講座、イベント、研究等に必要資金の一部（会場費用、講師謝金等）



プログラムB～食を通した居場所づくり（子ども食堂など）支援～

【対象】

子ども食堂などの子どもの居場所づくり支援に取り組む団体

【助成内容】

環境整備費用（運営資金は対象外）拠点の改修費、冷蔵庫他、厨房機器、椅子やテーブル、什器等、

※スタートアップ助成 1年以内の団体の立ち上げ支援として食材、光熱費等の運営資金を含む

※新型コロナ禍対応特別助成

2020年度より本格始動

物品（食品）助成
～自社商品の寄贈～

【対象】

食を通した子どもの居場所（子ども食堂など）

【寄贈の流れ】

MOW(全国食支援活動協力会) 運営の寄付システムMOWLSを通じて、全国へ、キューピーグループの商品を寄贈する

※ マヨネーズ、ドレッシング、パスタソース、ジャム等のパン用スプレッド等

2022年度総助成金 4,073万円 132団体※

**A 1,254万円
(27団体)**

**B 2,819万円
(105団体)**

**2022年度
物品寄贈計画
2,000万円**

※2020年度からの3年継続助成5団体を含め

【参考】2022年度助成団体（財団HPより）



設立以来累計のべ全国480団体へ助成

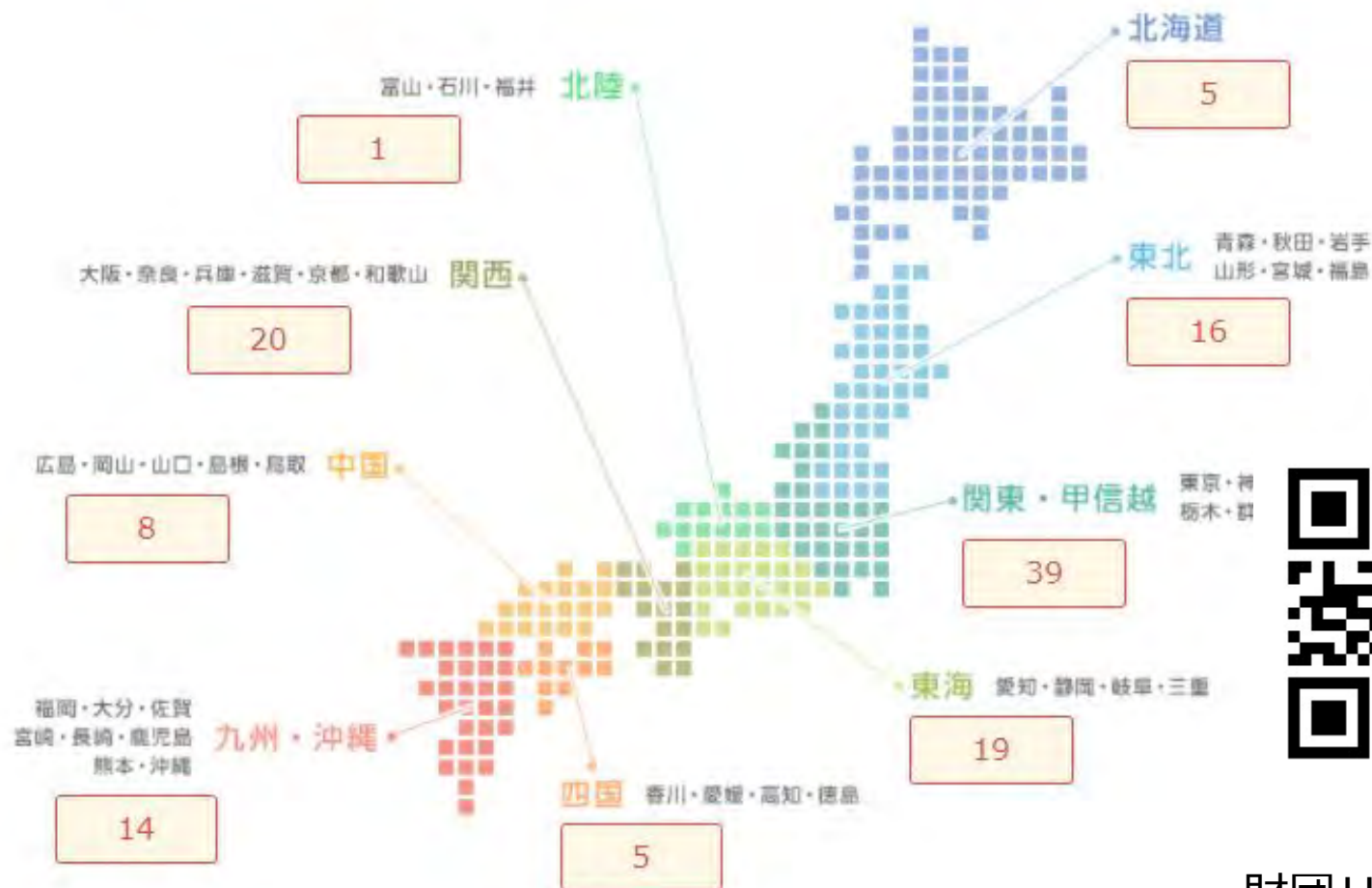
助成実績

年度を選ぶ:

2022年度

例:

< 助成団体数 >



財団HPQRコード

【参考】活動団体向けオンラインセミナー 食の居場所づくりサミット

年2回 財団主催の「セミナー」を開催

2020、21年度はオンライン開催

2020年6月：キューピー本社渋谷ホールから配信



2020年11月
：渋谷本社とおおさかサポートセンターを繋いで配信

【食品の寄贈 アヲハタくちどけいちご寄付 (2021年4月7日)】



子どもと家族を支えよう！
新型コロナウイルスに **負けないぞ！** ~信州子ども食堂

キューピー様から **アヲハタくちどけいちご** を戴きました
「**新型コロナ不況**」に **勝つために！** 各地 信州子ども食堂 にて活用

4月7日(水)、全国食支援活動
協会を通じて、キューピーみらい
たまご財団様から「アヲハタくち
どけいちご」1,520個 130 ㎞
が届きました。😊🏃‍♂️👍



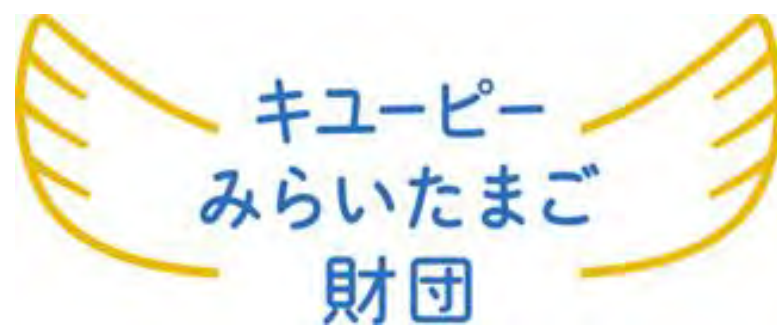
ありがとう
ございました



4/10日松本合庁での信州
子ども食堂や昨今のコロナ禍
で苦慮している子どもと家族
の皆さんに配布しています。😊

お問い合わせは、
NPO ホットライン信州
☎️ 0120-914-994 へ





【ご提案】

子どもたちのために
今、企業ができること



全国食支援活動協力会

ミールズオンホイールロジシステム（MOWLS）への参加

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」(MOWLS) 全国の子ども食堂等「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境づくり

- ✓ 全国25都道府県37拠点に客附食品を受入・保管できるロジ拠点を整備し、約1,800ヶ所の食支援団体へ食品を提供できる体制を整備。拠点の設備は常温・冷蔵・冷凍に対応。
- ✓ 企業からの客附食品を、量を集約して卸せるようにすることで配送を効率化し、費用を軽減。
- ✓ オンラインで客贈申請可能な客付情報システムの運用が始まります！

○ 全国食支援活動協力会において全国の企業等からの客附相談を一括で受け、各地域への客附を調整





『MOWLS』を通じて、誰もが笑顔になれる社会を 一緒につくりませんか。

地域の食支援活動を
応援しています

コロナ禍においても活動を
続けることも食堂、配食団体
フードバンク、母子生活支援な
どの食を通して地域の居場所
活動を応援しています。



各地域のネットワークによる**全国への食糧支援**の取組として農水省
HPに掲載いただいています



※参考※ フードバンクの平均的な提供トン数 34トン(2018)
公益財団法人流通経済研究所「フードバンク実態調査事業」より



3. 皆で支えたいMOWLSの仕組み

「ミールズオンホイールロジシステム (MOWLS)」の特徴

1. 全国の子ども食堂・子どもの居場所へ確実にスピーディに食品寄付ができる今までにない大規模な食品寄贈プラットフォーム
2. 今までにない**低温度帯（冷蔵、冷凍品）商品**の寄贈もできます
3. しっかりした信頼できるルートで必要とされる子ども達に届けられます
4. それぞれの企業が得意分野で支援が可能



- 食品関連企業**は食品の寄贈
- 物流事業企業**は余剰の在庫スペース提供、配送機能でロジハブ拠点での配送支援
- 全ての企業**
 - ・子ども向け商品の寄贈や運営者への寄付金
 - ・従業員の皆さんでのボランティア支援
商品荷受け作業、子ども食堂へのお届け、フードパントリーの応援、弁当調理応援等